



# やはば 議会だより

**196**  
2016.4.15  
岩手県  
矢巾町議会

中学生議会  
(関連記事… P31)

初の中学生議会

<b>中学生議員が町に提言</b> .....	<b>2</b>
町民と町議会との懇談会	
町づくりに活発な意見 .....	4
平成28年度予算 目玉事業 .....	6
一般質問 町政を問う	
いわて銀河鉄道を矢幅駅まで 一般質問11議員 .....	19

# 町に提言

1月28日に、初の中学生議会が開催されました。町の将来を担う中学生が、町づくりに関する意識を高めるために、矢巾中学校、矢巾北中学校の代表者6名が登壇し、矢巾町の課題を取り上げ、率直で活発な発言を行いました。

## 旧矢巾跡地に体育施設を

### 広く町民の意見を聞く



議員 佐藤 蓮  
矢巾中学校2年

**問** 矢巾中学校が新築移転してから4年が経ちました。跡地に専門学校などが建設される計画がありました。白紙になったのはなぜでしょうか。  
**町長** 広く町民の意見を聞き慎重に検討するためです。

**問** 跡地には設備の整った体育施設を集約・建設してはどうでしょうか。  
**町長** 町民の方々において最良の活用はどうあるべきか、早く方向性を定めたいと考えています。



## 図書室の開館時間延長を

### 利便性やコストを重視



議員 野中 俊貴  
矢巾中学校2年

**問** 図書室の開館時間が9時から18時まででしたが、学校などのあとに利用できるよう、20時までにはできませんか。

**問** 図書室を利用していない人の声を聞くことこそ、利用者の増加につながるのではないのでしょうか。

**教育委員長** 利用者を対象にしたアンケート結果や運営コストを考慮し、19時までの開館となりました。

**教育委員長** メールや投書箱で、広く町民の方から意見を聞きたいと考えています。

## 脳卒中発症への対策は

### 特定健診の受診で早期発見



議員 野田 彩也香  
矢巾中学校2年

**問** 脳卒中の原因とされる高血圧・糖尿病・喫煙について、町はどのような対策をしていますか。

**問** 特定健診受診率は53%で、目標の70%とは隔たりがありますが、この差をどう解消していくのですか。

**町長** 40歳以上の方を対象に、特定健診の受診率向上と保健指導等に力を入れ、脳卒中の早期発見に努めています。

**町長** 健診時間を土日にして、各自治公民館に向いて、健診を行うなどの対策をしています。

# 中学生議員が



## 町の高齢者支援策は

### 介護予防と認知症対策

**問** 高齢者支援として、今後老人向け施設を増やす予定はあるのでしょうか。

**町長** 町内には5カ所の施設があります。新たな施設を増やす予定はなく、介護予防と認知症対策に重点を置く予定です。



ささき けん と 議員  
佐々木健斗  
矢巾北中学校2年

**問** 認知症対策として、安全確保のためにも入居してもらう施設を増やすことが必要ではないですか。

**町長** 「どう暮らしたいか」という一人一人の気持ちに沿って支援できるように制度を整えていきます。

## 明るく安全な通学路を

### 生徒・町民の要望を検討

**問** 通学路に街灯が少なく、車道と歩道との境界線が分かりにくく不便です。街灯を増やすことは出来ませんか。

**町長** 生徒たちが危険と感じる場所の相談をしていただき、町民からの要望と合わせて設置場所を検討していきます。



いしがめ たかし 議員  
石亀隆  
矢巾北中学校2年

**問** 雪かきが難しい高齢者世帯のために、どんな配慮をされていますか。

**町長** 玄関から道路までの宅地内をシルバー人材センターに除雪サービスをしてもらう制度があります。

## 町全体の均一な発展を

### 住み続けたいまちを作る

**問** 岩手医大の移転を受け入れた経緯を教えてください。

**町長** 岩手医大はキャンパスの拡張のための移転先を探しており、矢巾町も地域経済の活性化へ繋がると考え、誘致しました。



なかやま ももか 議員  
中山 桃花  
矢巾北中学校2年

**問** 町全体の均一な発展に繋がればと私たちは考えますが、具体的にはどうなるのですか。

**町長** 土地利用などの規制が多く、様々な問題があります。皆さんが矢巾町に住み続けたいと思うまちづくりに取り組んでいきます。

# 活発な意見

## 働く場の確保を

2月20日、町公民館3階大研修室にて、今年度3回目の懇談会が開催されました。土曜日の開催で27名の参加があり、町の身近な問題や将来像など、多くの意見を伺いました。

### 徳丹城正門の復元は

**質問** 徳丹城史跡に正門を復元してほしいが、議会としても働きかけを行って頂きたい。出来れば盛岡市太田にある志波城のように。

**回答** 町では、3Dなど映像技術を駆使した方法で、徳丹城のシンボルになる建物の再現を検討しているようである。

### 若者の職場を

**質問** 矢巾町に、若い人が働ける企業・職場を確保して欲しい。20代の孫が働くために町外へ出掛けているのが現状である。

**回答** 医大附属病院開業に向

け、関係団体などと企業誘致を協議しているところである。

### 会派での議論は

**質問** 議会会派で矢巾町のあり方を議論したことがあるか。

**回答** 各会派の意見は、常任委員会などに提案されており、総合計画などに反映された。

### 町政チェック機能を

**質問** 第7次総合計画について、項目だけが並んでいるが、何を、いつまでに、どのようにするかが見えてこない。町政をチェックする議会がきちんと機能を発揮してほしい。

**回答** このあとそれぞれの実施計画が策定され、施策が実



町公民館で行われた第3回懇談会

行される。皆さまの意見をお聞きし、町民、行政、議会が一体となって推進していく。

**工夫はしないのか。**  
**回答** 若い人に興味を持ってもらうよう、インターネットの活用、テーマ設定の討論など人集めに努めたい。

**若い人を集める工夫を**  
**質問** 懇談会に若い人が集まらないという意見があるが、

# 町づくり

町政懇談会との違いは

**質問** 町政懇談会と議会懇談会の違いは何でしょうか。

**回答** 主催者が違い、町政懇談会は行政を進めるうえで具体的意見を聞く場、議会懇談会は夢を聞く場と考えて頂きたい。

上杉踏切の拡幅を

**質問** 駅北側の上杉踏切の歩道を拡幅するよう要望したい。現在狭いため、車両通過後に歩行者が渡っている状況

で安全上からも拡幅を要望します。

**回答** 駅前区画整理事業でもJRに要望してきたが、対応出来ないでいる。再度JRに要請していきたい。

LED化の助成拡大を

**質問** 街灯・防犯灯のLED化のため、経費助成をもっと増やしてほしい。

**回答** 町もLED化に積極的に取り組むので要望として受け止めます。

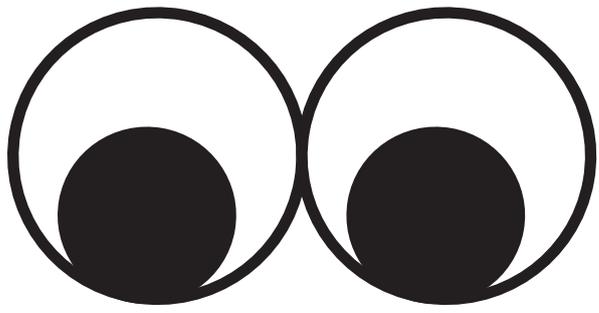


歩道を必要とする上杉踏切

## アンケートで出された主な感想



- 町民とコミュニケーションが取れていることは良いと思う。質問に対し回答をもう少し具体的に話して頂ければ、さらに懇談会がよくなると思う。
- 多くの課題・問題を抱えながら、議員の方々は取り組んでいることが改めて分かった。働く場の不足、少子・高齢化も大きな問題である。
- 便利な設備、インフラの老朽化、更なる生活レベルの向上には限度が出てくる。
- 今までの便利さの追求ではなく、レベルを下げたり、代用みたいな考え方も導入すべきと考える。
- 若者も参加できる時期と時間帯を考えるべきである。若者が少なすぎる。
- 参加者が少ないので、共同参加を望む。
- 町政を知るためにも次回も参加したいし、今後の「議会だより」を見る目も違ってくると思います。
- 有意義であったが、もう少し時間があればよかった。
- 議会活動がもう少し活発になっても良いのかな？
- 初めて参加し、大変参考になりました。次回も参加したいと思います。
- 昨年春以降は町民の声を反映する議会になったと感じる。国の補助で行う事業でも、町の財政負担が生じるので精査（注意）して取り組んで載きたい。
- 議会からの報告・要旨の、プリントがあればよいと思う。



# 目玉事業

## ト I C 整備事業 3億1819万円

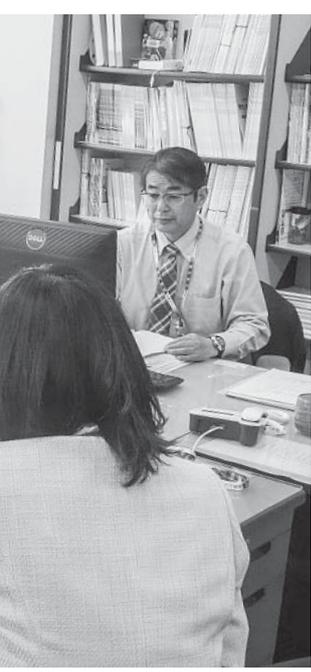


完成が待たれる矢巾スマートIC



エアコン設置が計画されている不動児童館

各児童館に冷房機器設置  
240万円



町の教育研究所

いじめ防止のための  
教育相談員の配置  
300万円



小学6年生まで拡大される医療費助成

## 子ども医療費助成事業 6183万円

# 平成28年度予算

定住促進利子補給

200万円



住宅建設が進む中村地区

矢巾スマー



やはばおでんの創作発表会



新たに2名の相談員が配置された

特産品の開発

260万円

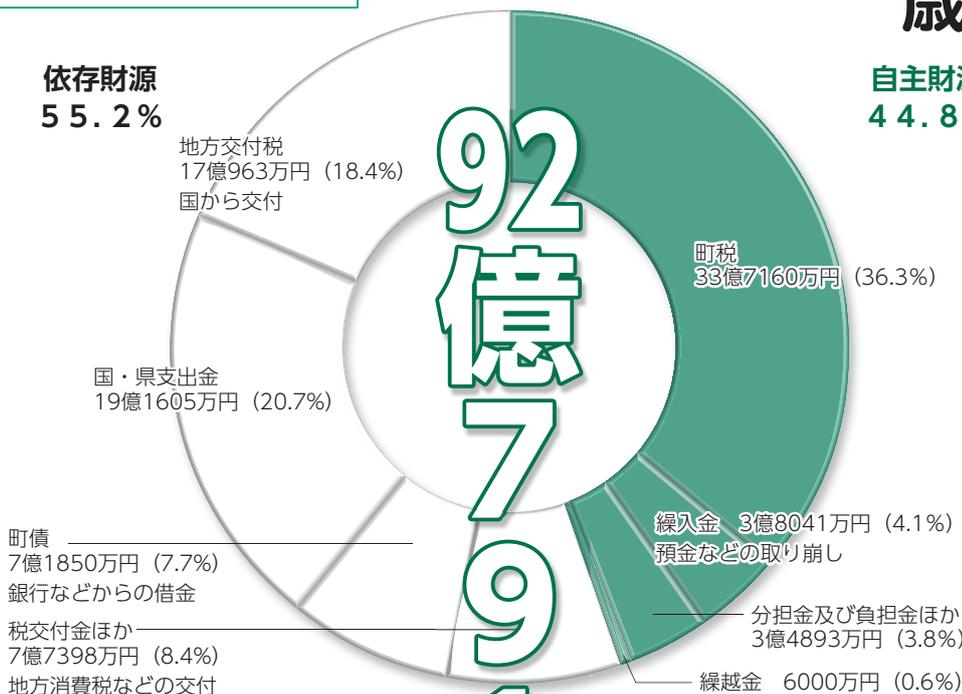
# 初年度スタート

## 一般会計

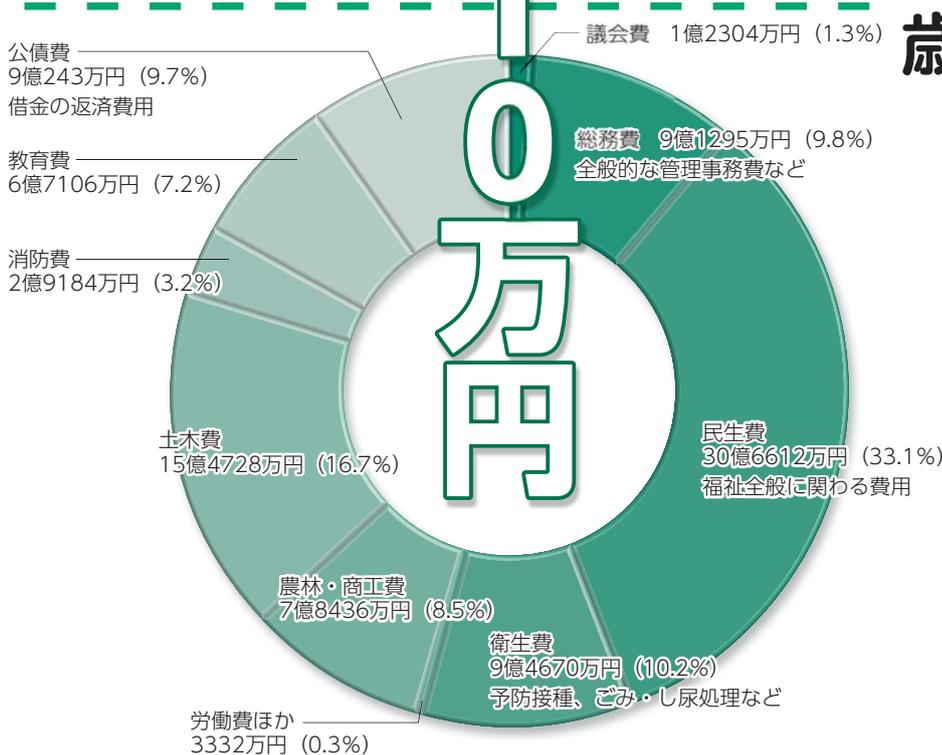
### 歳入

自主財源  
44.8%

依存財源  
55.2%



### 歳出



第7次矢巾町総合計画の初年度である平成28年度当初予算は、一般会計総額92億7910万円で、前年度当初予算に比べ、2億3580万円の増となりました。

# 人口増への取り組み

# 平成28年度予算

# 第7次総合計画

## 特別会計…ますます増える介護保険会計

### 国民健康保険事業

30億5272万円

前年度比 0.6%減

国民健康保険加入者への医療費や出産育児一時金給付、健康保持や増進を図る特定健康診査や特定保健指導などに取り組みます。

被保険者(5454人) 1人当たり 55万9721円

### 介護保険事業

19億5811万円

前年度比 5.0%増

要介護区分の認定、介護サービス給付費や介護予防事業を行います。対象は65歳以上の方全員と、40歳以上で要件を満たす方です。

被保険者(6282人) 1人当たり 31万1702円

### 後期高齢者医療

1億7103万円

前年度比 0.7%減

75歳以上の方、65歳以上で一定の障がいがある方を対象に、保険証（被保険者証）の交付や、高額療養費等の申請受付を行います。

被保険者(2954人) 1人当たり 5万7898円

### 矢幅駅周辺土地区画整理事業

6億9126万円

前年度比 9.3%減

土地区画整理事業の残務整理で、保留地等の売買、駅前複合施設の管理委託料の支払いを行います。

町民(2万7128人) 1人当たり 2万5481円

※1人あたりの金額は、2月末現在の人数から算出しました。

## 企業会計…待ったなしの施設更新

### 水道事業

収益的支出 5億3776万円 前年度比 1.2%増

資本的支出 6億5092万円 前年度比 1.8%増

### 下水道事業

収益的支出 10億9564万円 前年度比 2.9%増

資本的支出 14億8988万円 前年度比 4.0%増

※水道・下水道事業会計は複式簿記によって会計処理を行う企業会計なので、表記の方法が異なります。

# 議論

## 予算決算 常任委員会 白熱

予算審査は、議長を除く17人の委員で構成される予算決算常任委員会（山崎道夫委員長、藤原梅昭副委員長）で審議しました。

### 一般会計

## 財政

**質問** 補助金の全てを見直す必要があるのではないか。

**回答** その通りであり、補助金の対象となっている事業の自立が大切である。

**質問** 地方消費税交付金で本町に交付される額は。

**回答** 今年度は約5億4945万円の交付見込み。交付金は各市町村の人口、事業所の従業員数等により算定される。

**質問** 開発中である藤沢地区の固定資産税はどのようになるか。また、住宅建設が振るわなかった理由は。

**回答** 藤沢地区の固定資産税



土砂除去が必要な逆堰（西徳田地区）

は、平成30年度の評価替えまでは変わらない。商工業地は、減額の兆候である。住宅建設が伸びない件は、医大附属病院の開院に合わせ販売強化を予定とのこと。

## 総務・防災

**質問** 空き家対策はどうなっているか。

**回答** 平成28年度から地方創生事業の一環として、追加調

査をコンサルタント会社に委託し、計画策定をする。

**質問** 28年度事業の防犯灯LED化についての内容は。

**回答** 新規は20基で、62基が更新するものである。

**質問** 大雨に備えて逆堰下流の土砂除去が必要では。

**回答** 逆堰は流れが遅く水門を閉じれば逆流する。土砂除去に取り組んでいく。

**質問** 議員の視察・調査活動に、当局の政策課題が一致した時は、職員の研修を命じることが出来ないか。

**回答** 若い職員の研修も少なく、資質向上につながることから、前向きに取り組む。

**質問** 町民が利用しやすいさわやか号の運行を考えてはどうか。

**回答** これから、要望に合わせて運行するオンデマンド交通なども含めて検討していく。

**質問** インターネットによる議会中継の費用はいくらか。

**回答** サーバーの利用料はいろいろだが、月1万円ほどかかる。

**質問** 自主防災活動は何をやったら良いのか。防災支援は何か。

**回答** 矢巾町では、41行政区のうち、36地区で自主防災組織が出来ている。事業は、講話や矢巾分署から指導を受けている。配布品として、ヘルメット、蛍光ベスト、ランタンなどがある。

**質問** 婚活補助金がなくなったのはどうしてか。

**回答** 地方創生事業で行うため、50万円計上している。



昇格が検討されている矢巾分署

**質問** 地域安全推進隊の委員として、町内の大学にも呼びかけしてはどうか。

**回答** 今までは町内居住者が対象であったが、検討する。

**質問** 国体に向けた花いっぱい運動は、どう取り組むのか。

**回答** 企画財政課が中心になって取り組む。会場周辺や地域でも実施する。

**質問** 矢巾分署が消防署に昇格するのか。

**回答** 医大病院が出来るまでに昇格は必要と思われる。28年度から協議会を設立し、取り組んでいく。

## 産業・建設

**質問** インターンシップ事業に、県外の学生をホームステイさせて取り組み、移住と結び付けて充実してはどうか。

**回答** いいアイデアであり、ぜひ実現したい。

**質問** 水辺の里にあったマレットゴルフ場の再開は。

**回答** すぐ予算化するのは難しいが、マレットゴルフ協会などと協議をし、整備を行いたい。

**質問** カメムシ防除の費用が予算化されていないが。

**回答** 当初予算には計上されていないが、農業は矢巾町の基幹産業であるので、スピーディーに対応したい。

**質問** 松くい虫対策は。

**回答** 公有地、民有地関係なく、林野に対して行っていく。民家の庭先の松に対しては、樹幹注入補助金で対応する。

**質問** プレミアム商品券の販売方法は。

**回答** 子育て世代、高齢者を優先し、販売するよう考えている。

## 福祉・環境

**質問** シルバー人材センター運営をもっと活性化できないか。

のか。

**回答** 雇用延長で65歳まで働く人が多く、人が集まりづらい。作業内容も、人材派遣ではなく請負作業が多い。

**質問** 町内待機児童の実態は。

**回答** 定員980名に対して932人が入園予定であり、若干の空きがある状態である。

**質問** インフルエンザの予防接種の助成の年齢設定を設けるのか。

ているのはなぜか。

**回答** 65歳以上は国の事業で行っており、中学生までは町負担で助成をしている。

**質問** 障害者相談事業について、27年度まで1478万円ほどあったが、今年度なくなった影響は。

**回答** 国の期限付き事業であり、事業所には、その旨了解をもらっているものであり、利用者への影響も特段ない。



4月から認定保育園が併設される不動保育園

# 福祉の充実に向けて

## 福祉

**質問** 母子家庭の保育料支援を強化できないか。

**回答** 所得割で対応しているほか、町長の判断による軽減制度もある。

**質問** 社会福祉の充実をどう考えているのか。

**回答** 例えば、やはぱーくの一時預かり事業で、保育のキーステーション的役割や高齢者の一時預かりなど、工夫した取り組みも検討する。

## 教育・文化

**質問** 東小学校廊下側の間仕切り工事を予算化しているが、そのメリットは。

**回答** 間仕切りがない場合には、クラスを超えた交流ができるメリットがあった。

間仕切りを設置することにより、集中力が高まるメリットがある。

**質問** 田園ホールのトイレの洋式化は。

**回答** 田園ホールは特殊な床



間仕切りを設置予定の矢巾東小学校

となっていて時間と費用がかかるため、検討したい。

**質問** 徳丹城の発掘事業はどうなっているか。

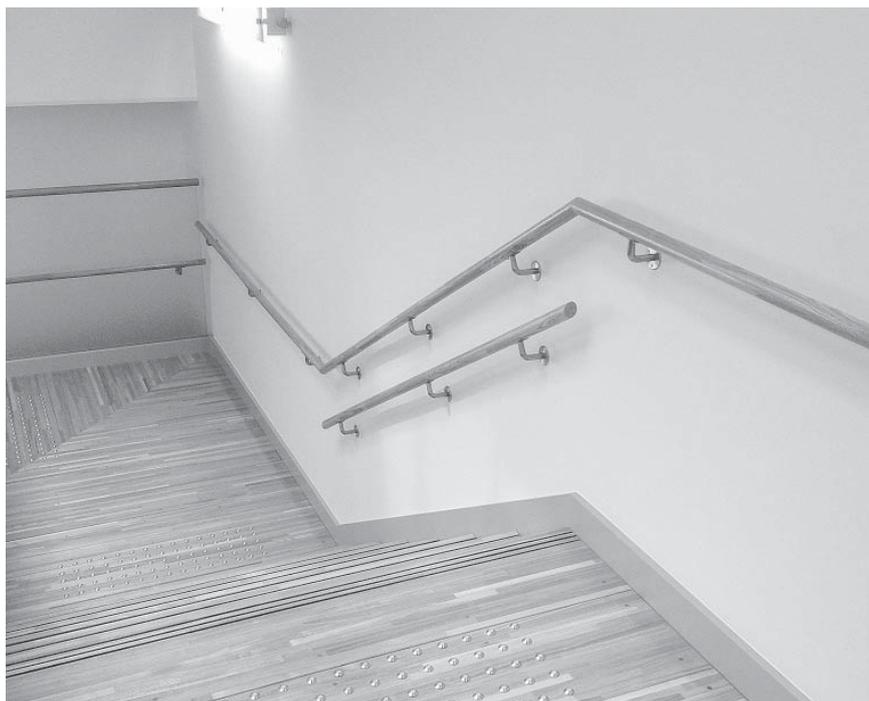
**回答** 平成30年までは発掘ではなく報告書作成を行うため、3名の作業員は室内での整理などを行う。

## 特別会計

**質問** 保留地売買仲介手数料の内訳は。

**回答** 昨年まではホームページのみの広告をしていたが、区画整理事業完了間近となり、販売を加速するために、今年度から不動産業者の仲介料を計上した。

**質問** やはぱーくの中央吹き抜け階段が、転落の危険がある



危険防止のため壁側に移動した子ども用手すり（やはぱーく）

ので防護網を付けられないか。

**回答** 防護網は構造上取り付けが難しいので、子ども用の手すりを壁側に移動する方法を考えている。

となるので時期を考えては。

**回答** 現世代と次世代が均等に負担するため、料金改定は実施したい。

## 企業会計

**質問** 下水道使用料を15%値上げする案を発表しているが、一般会計からの繰り入れで対応できないか。

**回答** 値上げ案は総務省が指導する料金20立方メートル当たり3000円程度であり、繰り入れは行わない。

**質問** 上下水道料金の7月値上げは、来年4月に消費税が増税となれば、何度も値上げ

# 審査報告

予算決算常任委員会委員長

山崎 道夫

## 一般会計予算は全員賛成で可決

次の通り付帯意見を付して可決する。

- 定住人口増と「ふるさと納税」などによる増収対策に取組まれない。
- 県、国からの財源の確保に鋭意取り組まれない。
- 職員研修事業の運用の拡充を求めると。
- 節電対策も含めLED化を推進されたい。
- カラムシ防除対策の助成を継続されたい。
- 人口増加に向けて、働く場の創出・子育ての支援策が必要である。
- 子どものいじめ防止対策として、より一層子どもへの気持ちに寄り添った施策の実施と予算措置を求めると。
- 特に冬場の運動施設が不足しておりその解消に努めら

れたい。

- 高齢者・障害者が安心して住める福祉の充実を求めると。
- やはばーくの指定管理者に対し、良好な運営を求めると共に、安全対策に万全を期されたい。
- 上下水道料金の値上げは、値上げ幅と時期を慎重に検討されたい。



議長に付帯意見を提出する正・副委員長

### 情操教育の充実を

芸術鑑賞等の情操教育は、発達段階の小中学生には非常に大切であり、予算化されている。全国に負けない魅力ある特産品の開発とPRの事業が予算化されており、増収が見込まれる。  
老朽化施設の更新の早急な対応を求めると。  
以上を期待し、全ての予算会計に賛成する。

水本 淳一

### 法定外繰り入れを

健康保険税・介護保険料が高く、不安の中で医療・介護を受けている。安倍政権は、徹底した効率化・適正化を掲げ、公的保険外のサービス産業の活性化などの成長戦略を柱に「社会保障と税の一体改革」を進めている。  
一般会計から法定外繰り入れを行い町民負担軽減することが必要であり反対。

川村 よし子

## 賛成

### 職員の奮起を期待する

新たな住宅取得に係る利子補給制度、塩彩プロジェクトを通じての6次産業化、小学6年生までの外来医療費補助拡大、2名のいじめ相談員の配置などの事業を計画、活力溢れる町実現のため実施する、庁内機構改革を評価する。  
実りある機構改革となるよう職員の奮起を期待し、賛成する。

齊藤 正範

## 反対

### 上下水道料UPに待った

107億円の借金により開発された駅前区画整理事業は、平成46年度まで事業費と合わせて維持管理費1億760万円、運営費2460万円を毎年支払っていくことになる。  
複合施設駐車場の確保と安全に万全を期されたい。  
上下水道料金値上げの前に老朽管改修計画の見直しなどやるべき事があり反対する。

小川 文字



# 期待の集まる



平成28年1月会議、2月会議、3月会議で矢巾町活動交流センター、矢幅駅東西駅前広場、子育て世代活動支援センター条例の制定などについて審議を行いました。

## 条例

### 活動交流センター条例

矢巾町活動交流センター（やはぱーく）について、管理運営等に関し必要な事項を定めます。

**質問** 避難経路について、指定管理者とどのように打ち合わせしているのか。

**回答** 消防法の規定による避難訓練を実施し、避難経路の確認も行う。

### 矢幅駅東西駅前

#### 広場条例

矢幅駅交通の円滑化と、利用者等の利便性の向上を図るために設置する矢幅駅東西広

場の管理運営について定める条例です。

占有や使用の許可などの事項を定めています。

**質問** 東口バス停は歩道との段差があり危険だが、看板での注意喚起等の考えは。

**回答** 融雪装置が設置されているため段差の撤去は出来ないが、これからの対策については看板も含め検討していく。

### 子育て世代活動支援センター条例

町の中心部に遊びや交流の場を提供することで、一時預かりや子育て世代の様々な活動を支援するために設置する子育て世代活動支援センターの管理運営について定めます。

**質問** 一時預かりの子どもの誤嚥等の事故が発生した際に備えた訓練等はどのようなのか。

**回答** 一刻を争う事態に対しても対処できるよう指導していく。

### 町長・副町長の給与条例

人事院勧告に基づき、6月・12月手当の支給月数を0・1か月ずつ引き上げます。

### 近隣市町の状況は。

**回答** 雫石町では8月に引き上げ済み。盛岡市、滝沢市、紫波町は本町と同様に実施すると聞いている。



やはぱーく3階の子育て世代活動支援センター



住所が南矢幅の新田公民館

## あっせん申立て

東日本大震災で発生した福島原子力発電所事故の放射性物質による影響対策に要した費用7万7333円を東京電力株式会社を支払うよう、原子力損害賠償紛争解決センターに対してあっせんの申立てを行います。

**質問** 東京電力はなぜ支払いに応じないのか。

**回答** 東京電力で定める基準に沿って、支払いに応じるかどうかが決まるためである。

## 字の区域変更

広宮沢第二地区・矢幅駅西地区土地区画整理事業で行った換地処分に合わせて、新たに整備された道路により字の区域を定めます。

**質問** 今回の変更で新田公民館の住所が南矢幅になるなどの状況になっているが、行政区との整合性は考えなかったのか。

**回答** 今回の変更は地形地物に字を合わせることを主にしており、行政区と字を合わせ

## 発議案

することは考えていない。住居表示の変更については、地域住民の理解が重要なものであることを踏まえ、これから対応をしていきたい。

**議員の報酬・費用弁償に関する条例**

議員の6月・12月手当の支給月数を0・1か月ずつ引き上げます。

また、旅費についても一般職の職員と同様に、東京都と政令指定都市に出張する場合の加算額を廃止します。

## 指定管理者の指定

矢幅駅前開発株式会社が指定管理者となり、矢巾町活動交流センターの管理を行います。効率的・効果的な施設の運営を図るため、町は積極的に指導を行います。

**質問** 活動交流センター内で

行われる子育て世代活動センター事業に町は関わるのか。

**回答** 指定管理者による運営となり、町は関わらない。

**質問** 矢幅駅前開発株式会社と、実際に事業を運営する個別の事業体との関係について説明を。

**回答** 矢幅駅前開発株式会社は複数の事業体による特別目的会社であり、下請けとは異なる関係になる。契約上では委託契約という形になると予想される。適正な運営がなされているかについては、年2回のモニタリング等の結果を見ながら判断していきたい。

## 人事案件

固定資産評価委員の選任



秋篠 孝一さん  
(太田)

人権擁護委員の推薦



高橋 裕喜子さん  
(南矢幅7区)

**質問** 施設内で事故があった際の責任の所在は。

**回答** 指定管理業務内の事故であれば指定管理者が責任を負うが、最終的な責任には矢巾町も関与する。

## 工事請負契約

役場庁舎内の夏季の室内環境改善を図るため、冷房機器の設置工事を約7740万円で行います。

室外機10基、天井埋め込み型エアコン48基、壁掛け型エアコン2基を新たに設置する予定です。

# 保育士の処遇を改善

補正予算は、2月会議では一般会計、2特別会計、2企業会計について計上されました。3月会議において、一般会計と4特別会計、2企業会計について計上され、一般会計の総額は101億9357万円となりました。

## 補正予算

2月会議および3月会議において7会計の審議を行いました。

主な内容は以下の通りです。

### 主な歳入

- ▽農地中間管理事業農地集積協力金 4233万円
- ▽土地売却収入 1420万円

### 主な歳出

- ▽保育委託事業 6721万円
- ▽地方創生加速化事業補助金 1600万円

#### 住宅改修事業

2305万円の減

#### 多面的機能支払・長寿命化

負担金

1638万円の減

#### 環境保全事業

1071万円の減

#### 小学生医療費給付費

268万円の減

#### 保留地の残は

**質問** 駅周辺の土地はどのくらい残っているのか。

**回答** 駅前は4区画1500平方メートルほど、駅西地区は5区画で1556平方メートルの残となっている。

#### 保育士の処遇改善は

**質問** 保育委託事業費の増額の内容は。

**回答** 主に保育士の処遇改善に関わるもので、2月に単価の改定額が確定した。処遇改善で、保育士の給与が上がるが見込まれている。

#### 太陽光発電の管理者は

**質問** 駅前複合施設屋上に設置されている太陽光発電パネルの維持管理は指定管理者か、または町が行うのか。

**回答** 町が維持管理を行い、電力は複合施設で利用される。パネルの設置については県からの補助事業で設置している。

#### 平川食品の未収金は

**質問** 平川食品下水道使用料不正問題に関して、貸倒損失



町で管理するやはば一く屋上の太陽光発電パネル

額は予算書等で明らかになるのか。

**回答** 今年度回収した下水道使用料については営業費用の貸倒損失に計上されている。平川食品倒産当時に、債権の回収がほとんど不可能であると判断し、有識者からも助言を頂いて未収金には計上していない。

#### 医療費助成の拡大は

**質問** 小学生への医療費助成事業が減額になっているが、減額になった分で中学生の医療費まで対象とすることは出来ないのか。

**回答** 今回の結果を参考にし、動向を見ながら対応を進めていく。

# 上下水道の老朽化対策の拡充

議会では、社会資本の老朽化対策の制度拡充を求めて、県や他自治体との連携を図り、運営の維持安定を求めて、国に意見書を提出することにしました。

地方の上下水道事業者は、安全で安定した水道水の供給をめざし、かつ生活環境の保全と公衆衛生の向上のため下水道の整備普及に取り組んできた。

今その上下水道施設が急速に老朽化の域に達し、今後20年間で建設後50年以上経過する施設の割合が加速度的に増加する見込みである。

本町では、公営企業会計への移行をし、維持管理費の削減と施設統廃合を行い、かつ更新時期の集中による整備費

の増大に対応するため、アセットマネジメントにより事業費の平準化に取り組んできた。

しかし、今や利用者の料金値上げなどのほか、老朽化対策への活路が見出せない現状である。

## 国への意見書を

### 議員発議

- 「水道資源開発等施設整備費国庫補助金」に加え、平成26年度に創設された「生活基盤施設耐震化等交付金」においても、補助要件及び総額においても必要十分とは言いがたい。よって、上下水道事業の円滑かつ確実な推進を図るため、補助要件の緩和と財政予算額の十分な確保を講ずること。
- 老朽化対策施設整備が計画的に進むように、安定的な財政支援を講ずること。
- 国民の上下水道利用料金に格差が生じないよう適正化につとめ、事業制度の拡充を図ること。



藤沢地区で行った水源調査ボーリング

議会で決めたこと

# みなさんからの請願

1月第2回会議

▽TTPP交渉の情報公開とTTPPからの撤退・調印中止を  
求める請願  
請願者  
農民運動岩手県連合会 会長  
久保田 彰孝

紹介議員  
川村 よし子

3月会議

▽安全保障関連法の廃止を  
求める請願  
請願者  
矢巾九条の会代表世話人

紹介議員  
伊東 宗行  
佐藤 征克  
藤原 梅昭  
川村 農夫

## 採択 審査意見

TTPPが農林水産業に及ぼす影響は計り知れず、我が国の食料安全保障の観点から見ても大変重大な問題である。政府からの情報が開示されず、国民的な議論も尽くされない中で、農林水産業に関連する全産業の生産額、雇用の減少が見込まれている。

本町の基幹産業である農業が壊滅的な打撃を受けることは必至であり、地域経済、国民生活全般にわたって深刻な影響を及ぼす懸念がある。

## 採択 審査意見

審査の過程において、平成27年8月12日付で政府に「国際平和支援法案」と「平和と安全法制整備法案」の撤回と廃案を求める意見書を提出していることから、今回の

「安全保障関連法の廃止を求める請願」を採択すべきとの意見が出され、その後の審査においても昨年からの請願者の趣旨を理解すべきことから、表決の結果賛成多数で採択すべきとした。

# 各議案の採決状況

## 平成28年定例会 1月第1回会議

議案番号	提出議案	議員名														採決結果				
		赤丸 秀雄	水本 淳一	廣田 清実	高橋 安子	齊藤 正範	村松 信一	昆 秀一	藤原 梅昭	川村 農夫	山崎 道夫	高橋 七郎	長谷川和男	川村よし子	小川 文子		藤原 由巳	藤原 義一	米倉 清志	廣田 光男
議案1号	矢巾町税条例等の一部を改正する条例の専決処分に関する承認	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
発議案1号	議会委員会条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

## 平成28年定例会 1月第2回会議

議案2号	矢巾町活動交流センター条例の制定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案3号	矢幅駅東西駅前広場条例の制定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案4号	矢巾町子育て世代活動支援センター条例の制定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
発議案2号	議会傍聴規則の全部を改正する規則	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
発議案3号	TPP交渉の情報公開とTPPからの撤退・調印中止を求める意見書の提出	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

## 平成28年定例会 2月会議

議案5号	一般職の職員の給与に関する条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案6号	平成27年度一般会計補正予算(第10号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案7号	平成27年度介護保険事業特別会計補正予算(第3号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案8号	平成27年度矢幅駅周辺土地区画整理事業特別会計補正予算(第3号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案9号	平成27年度水道事業会計補正予算(第2号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案10号	平成27年度下水道事業会計補正予算(第3号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

## 平成28年定例会 3月会議

議案11号	固定資産評価委員の選任に関する同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案12号	職員の降給に関する条例の制定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案13号	行政不服審査会条例の制定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案14号	行政不服審査法の施行に伴う関係条例の整備	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案15号	地方公務員法及び地方独立行政法人法の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案16号	一般職の職員の旅費に関する条例等の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案17号	矢巾町立保育所設置条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案18号	職員の勤務時間、休日及び休暇に関する条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案19号	町営住宅等条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案20号	家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案21号	保健センター条例の廃止	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案22号	あっせんの申立てに関する議決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案23号	町道路線の廃止に関する議決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案24号	町道路線の認定に関する議決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案25号	字の区域変更	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案26号	矢幅駅前地区整備等業務に係る工事委託に関する契約の変更	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案27号	矢巾町活動交流センターに係る指定管理者の指定等に関する議決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案28号	平成27年度国民健康保険事業特別会計補正予算(第2号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案29号	平成27年度介護保険事業特別会計補正予算(第4号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案30号	平成27年度後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案31号	平成28年度一般会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案32号	平成28年度国民健康保険事業特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案33号	平成28年度介護保険事業特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案34号	平成28年度後期高齢者医療特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案35号	平成28年度矢幅駅周辺土地区画整理事業特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案36号	平成28年度水道事業会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案37号	平成28年度下水道事業会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
諮問1号	人権擁護委員の推薦同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案38号	特別職の職員の給与及び旅費等に関する条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案39号	役場庁舎冷房機器設置工事請負契約の締結	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案40号	平成27年度一般会計補正予算(第11号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案41号	平成27年度矢幅駅周辺土地区画整理事業特別会計補正予算(第4号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案42号	平成27年度水道事業会計補正予算(第3号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案43号	平成27年度下水道事業会計補正予算(第4号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
発議案4号	議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
発議案5号	議会事務局処務規程の制定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
発議案6号	安全保障関連法の廃止を求める意見書の提出	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
発議案7号	社会資本(上下水道)の老朽化対策の制度拡充を求める意見書の提出	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

○=原案に賛成 ●=原案に反対 欠=欠席 可=可決

注：廣田光男議長は採決に加わらない。



やはば一く開館式

# ズバリ 町政を問う

## 一般質問

一般質問とは、議員が執行機関に対して、町政全般にわたる執行状況や将来に対する方針など、諸問題について質問を行い政治姿勢を明らかにするものです。  
3月会議では11人の議員による一般質問が行われ、活発な議論が展開されました。

### ● 村松 信一 議員… P 20

- ①町長の政策
- ②旧矢巾中学校跡地について
- ③いわて国体の準備状況及び開催内容

### ● 赤丸 秀雄 議員… P 22

- ①ふるさと納税の取り組み強化
- ②地域おこし協力隊創設の考え
- ③子育て世代への抜本的支援

### ● 廣田 清実 議員… P 24

- ①安全な町づくり
- ②国体に向けての本町の対応
- ③パストラルバーデンの現状
- ④地域別の人口減少対策

### ● 小川 文子 議員… P 26

- ①水道料金および下水道使用料の値上げ案
- ②病児保育

### ● 藤原 由巳 議員… P 28

- ①教育行政方針
- ②施政方針演述
- ③まちづくり懇談会

### ● 藤原 梅昭 議員… P 30

- ①利便性と発展性を高める町づくり
- ②健やかな生活を守る町づくり
- ③東日本大震災の被災者支援等の対応状況

### ● 昆 秀一 議員… P 21

- ①インクルーシブ教育
- ②ICT化の推進
- ③介護支援専門員の資質向上

### ● 高橋 安子 議員… P 23

- ①高齢者介護事業の取り組み
- ②児童虐待防止の取り組み

### ● 齊藤 正範 議員… P 25

- ①28年度事業の具体的取り組み
- ②学校教育
- ③史跡整備

### ● 山崎 道夫 議員… P 27

- ①いじめ防止に向けた取り組み
- ②幸福度向上への各種取り組み

### ● 川村よし子 議員… P 29

- ①高齢者が安心して暮らせる地域づくり
- ②ゴミ処理基本計画
- ③いじめ防止対策

※次ページからの各議員の質問と答弁は、紙面の都合上、内容を要約して掲載しています。  
詳しい内容は、議会事務局にお問い合わせください。

# いわて銀河鉄道を矢幅駅まで 医大附属病院開院までに実現



むらまつ のぶかつ  
**村松 信一 議員**  
(矢巾明進会)



矢幅駅乗り入れが期待されるいわて銀河鉄道（盛岡駅）

**質問** 岩手医大附属病院開院に伴う交流人口増加に対応のため、いわて銀河鉄道を矢幅駅、紫波中央駅まで乗り入れの誘致をはいかがでしょうか。

**町長** いわて銀河鉄道と協議を重ね、医大附属病院開院までに実現したい。

**質問** 子ども医療費および不妊治療助成拡大の内容を問う。

**町長** 子どもの外来医療費は3年生を6年生まで、不妊治療は限度額10万円から15万円まで拡大する。

**質問** 矢巾町婚活推進ネットワークの参加者状況はどうか。

**町長** 男性37・7歳、女性35・1歳で参加者は男性6割、女性4割の比率である。結婚までは至っていないが、実際の中の方はいる。

**質問** 人口増加対策の新たな支援策は。

**町長** 住宅取得資金として利子補給制度を創設する。これによりゼロ金利も考えられる。

**質問** 保育と雇用の両立ができる整備体制について問う。

**町長** 生後2カ月から預かり保育や、7時から21時までの長時間対応も実施している。

**質問** 少子化対策として3人目に対する矢巾町独自の厚い支援策を考へてはどうか。

**町長** 第3子は保育料を半額とする対策を実施している。今後、さらなる支援策は検討する。

## 旧矢巾中跡地 利用の決定は

### 来春3月までに 方向性を出す

**質問** 旧矢巾中学校敷地利用計画検討委員会の構成と任期について問う。

**町長** 各種団体役員推薦10名、一般住民推薦4名、町推薦1名、公募5名、計20名で、任期は1年である。

**質問** 跡地利活用の決定はいつ明言するか。

**町長** それぞれいただいたご意見、ご提案など委員会で検討する。

**質問** 最終結果はどのような取り扱いになるか。

**町長** 町議会と協議し、来春3月までに方向性を出したい。

# インクルーシブ教育の推進を その子に合った支援を考え進める



こん 昆 秀一 議員  
(一心会)

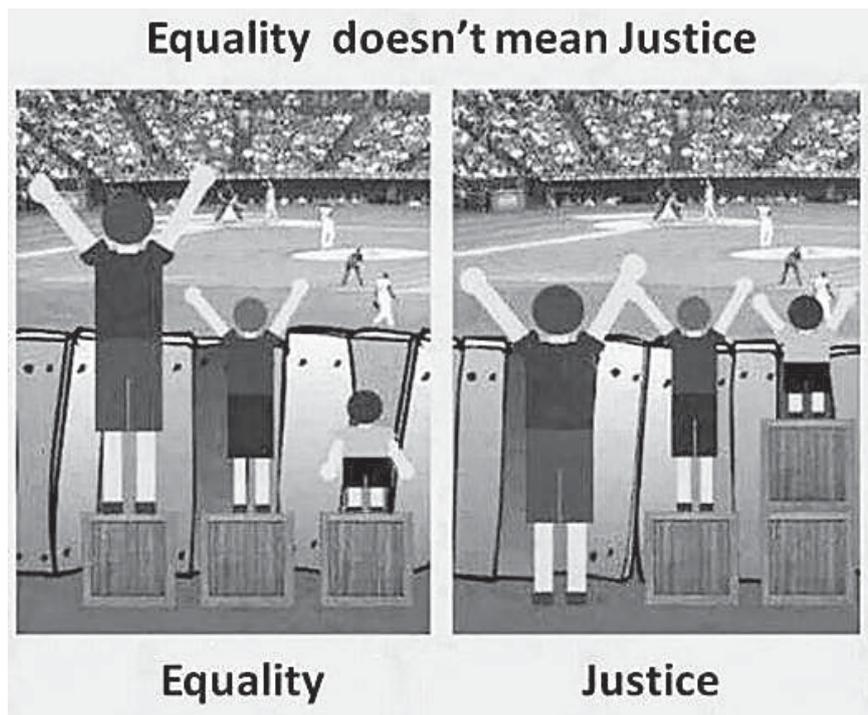
**【質問】** 改正された障害者基本法では、インクルーシブ教育の概念が盛り込まれている。

本町には今後特別支援学校や療育センターが移転し、岩手県の障がい者の拠点となることが考えられる。

これから本町ではインクルーシブ教育をどう推進していくかとしているのか。

**【教育委員長】** 教育的ニーズに合った適切な支援を通常の学級において行うインクルーシブ教育は、障がいのある児童生徒が健常者との関わりから学ぶことである。

インクルーシブ教育は大変重要であると捉えていて、有意義であり、その子に合った支援を考えながら進めていく。



左は日本の、右はアメリカのインクルーシブ教育を説明したイラスト

## ICT化推進 の考えは ホームページの改修 で利用環境を向上

**【質問】** ICT(情報通信技術)の推進は避けて通れない問題である。  
議会でもタブレット導入の協議を進めていて、今後町民への啓発のためにICTを率先して進める必要がある。  
本町のICT化推進の考えを問う。

**【町長】** ホームページは利用環境の向上を図るために、4月から新システムによる利用開始に向け、改修を進めている。

タブレット議会は、町議会との協議を進めたい。

行政のICT化は、町民の利便性の向上を図りさまざまな検討を行っていく。

## ケアマネジャーの 資質向上を

情報提供と共に  
研修を行っている

**【質問】** 介護および地域包括ケアの担い手の核となるのは、ケアマネジャーである。

今後、町としてケアマネジャーの資質向上にどう取り組むのか。

**【町長】** 地域包括支援センターが開催する合同会議で必要な情報提供と研修を行っている。  
今後は、町内ケアマネジャーが自主的に組織を結成して意見交換を行う場を設ける計画である。

# ふるさと納税使途限定なぜ 使途の範囲を拡大していく



あか まる ひで お  
**赤丸 秀雄 議員**  
(一心会)



矢巾町のふるさと納税贈呈品（リンゴ詰め合わせ、味噌など）

**質問** ふるさと納税寄附金の使途を限定しているのは、なぜか。

また目標額はいくらとして  
いるか。

納税額を増やす取り組み例  
として返礼品の充実、町ホー  
ムページでのPRの工夫など

がある。若手県産や親交のあ  
る普代村の物産品を増やす考  
えはないか。

**町長** ふるさと納税制度の理  
念にのっとり限定していたが、  
今後はより多くの方々に矢巾  
町を応援していただけるよう、  
使途の範囲を拡大していく。

目標額は120万円、昨年  
10月に種類を増やし状況把握  
している。

また、4月にリニューアル  
する町ホームページの中でア  
ピールするよう努める。

前向きに取り組み、矢巾町  
を応援する方を増やしてい  
きたい。

## 地域おこし

### 協力隊創設は

### 受け入れ課題など

#### 整理

**質問** 視察研修で地域おこし  
協力隊の活動を学ぶ機会が  
あった。

矢巾町をますます活発な町  
にするために、当町にも地域  
おこし協力隊創設の考えがあ

るか。

またU・I・Jターン希望  
の若い人達には、良い施策と  
思うがどうか。

**町長** 意欲ある若い人たちの  
行動は魅力であるが、当町に  
創設するには目的を明確にし、  
受け入れの課題など整理する  
必要があり、すぐに結論が出  
せる状況にないので、今後検  
討していく。

## 子育て世代へ

### 抜本的支援を

### 土地規制緩和の

### 取り組みを行う

**質問** 人口減少対策には若年  
層世代の定住が不可欠である。  
子育て世代への抜本的支援  
が必要であるがその考えは。

**町長** 子どもの医療費助成拡  
大、不妊治療助成の限度額拡  
大、定住希望者向け住宅取得  
の利子補給事業などで支援し  
ていく。

また町内に働く場を増やし、  
住宅用地取得の土地規制緩和  
の取り組みを行う。

# 高齢者介護の取り組みは 認知症サポーターを増やす



たかはし やすこ  
**高橋 安子 議員**  
(町民の会)

**質問** 今後懸念される認知症対策として、介護をする人に町独自の研修会を開催し、町長名の認定書を発行し、地区公民館等での見守りや話し相手の活動ができないか。

**町長** まずは、認知症サポーターを増やしたい。

今後のことを見据え、高齢者を支える地域づくりをしていく。

**質問** 保険適用外や自宅介護している方が、買い物などの際に短時間頼める「一時預かり所」設置の考えはないか。

**町長** 現在、デイサービスやショートステイで対応している。緊急的に必要と認められた場合には、保険適用外でも対応できる制度がある。



スポーツで介護予防 (矢巾町体育館)

**質問** 介護施設では手続きに時間がかかる。駅東口に商業スペースができることから、売り上げ向上にもつながると思うので、商工会とも検討し、利用ができるよう預かり所の設置を考えてみてはどうか。

**町長** 農協や商工会などの他

団体や、町社会福祉協議会とネットワークを形成しながら前向きに検討していく。

**質問** 自治公民館で実施する介護予防事業「おでんせ広場」の現在の利用状況はどうか。

**町長** 3人から5人程度の利

用が多く、年々利用者が減少している。町社会福祉協議会で、今後の内容について検討中である。

## 児童虐待防止 の対応は

### 事実確認や 安全確認をする

**質問** 昨年11月の新聞に児童虐待が岩手でも増加しているとの記事が掲載された。

**町長** 本町では、平成27年度はこれまで未就学児童が4件、小学生が5件で、計9件把握している。

**質問** 通報を受けた場合の対応はどうするのか。

**町長** 事実確認や子どもの目視、安全確認をする。緊急を要する場合は、児童相談所に一時保護要請を行う。乳児については、全戸家庭訪問や児童家庭相談窓口の周知徹底などに努めている。

# 安全な踏切対策は JR等との協議を早める



ひろた きよみ 議員  
廣田 清実 議員  
(町民の会)

**質問** 本町の自動車道路整備は進んでいるが、歩行者、自転車等の東西道路およびJR東北本線を横断する踏切は歩車分離等の安全整備が遅れていると思うが、どのような対策を行うのか。

**町長** 本町には、5カ所の横断踏切があり、全ての踏切で歩行者スペースがない状態である。関係団体と合同点検を行った結果、通学通勤時間帯だけで、自動車、歩行者、自転車等の交通量が多く安全確保のためにも歩車分離の対策が必要であると認識している。現在もJR等と協議をしており、震災の関係で32年以降の改善との回答である。安全のためにも早い対策が行われ

るよう検討する。

**質問** 来年度の街路灯の設置計画と防犯灯のLED化について問う。

**町長** 街路灯は、要望をいただいている箇所と通学路を中心に10基ほど予定している。

防犯灯のLED化は、半額を補助金で対応している。

**質問** 故障した街路灯をLED化する場合の補助金の考えはないか。

**町長** 現在、年度途中の補助金制度はないが検討していく。

一般質問 町政を問う

## 県道の 花壇整備は

### 町主導で実施

**質問** 国体に向けての花いっぱい運動として、県道(旧農免道)の花壇整備は行うか。

**町長** 関係機関と協議して、町主導で行う。合わせて駅西口をはじめラジオ体操会場、スポーツチャンバラ会場等も整備を実施していく。

## 入浴施設の 今後は

### 再開は難しい

**質問** パストラルバーデンの今後の営業再開の見通しと、譲渡等の契約内容は。

**町長** 現在譲渡先と交渉をしているが、営業再開のめどは立っていない。

契約内容は、入浴施設関係の土地と建物一式となっている。債権回収は計画通りできている。



国体デモンストレーション競技のスポーツチャンバラ

# 産業振興課の施策を示せ

## 特産品開発で元気な町を発信



さいとう まさのり  
齊藤 正範 議員  
(矢巾明進会)



農林課と商工観光課は統合され、産業振興課となった

**質問** 4月から機構改革により新設される、産業振興課の農林と商工観光が連携した施策を示せ。

**町長** 既存の第一次、第二次、第三次産業に加え、六次産業化など、新たな取り組みによる農商工、地域および行政の

各分野が連携した新興施策を、一体的に推進する。

加えて、地元の農産物を使った特産品の開発を通じた勢いのある、元気のある町発信を行っていく。

塩彩プロジェクトにおける減塩食品加工の開発及び販路拡大を通じた、地元農産物などの積極的な活用を推進する。

### いじめの防止策は

情報を共有し

組織的に取り組む

**質問** 昨年いじめと思われる、中学生が自殺した問題を受けて、当時と変わったいじめ防止対策はあるか。

**教育委員長** いじめはどこにでも起こり得るものである。

その後の対応が大切であるとの認識に立ち、児童生徒が精神的な苦痛を受けたものは全ていじめであると捉え、職員間で情報を共有し組織的取り組み、早期発見、早期解決に活用している。

**質問** 28年度事業に盛り込んだ、教育相談員2名の具体的活動と学校や児童・生徒との関わりは。

**教育委員長** いじめ事案にかかる相談窓口と、迅速に対応できる人材を町独自に配置する。児童生徒や家庭とも関わり、教師からの相談や学校のいじめ対策の指導も担当する。

### 徳丹城整備は

整備計画を検討する

**質問** 徳丹城史跡の整備は平成31年から第2次整備に着手するとしているが、その間の対応は。

**教育委員長** 今までの発掘調査成果をまとめた報告書の発行を、平成30年度とすることに見直した。

28年度は、徳丹城跡整備活用指導委員会で地域住民の意見も取り入れた、計画づくりに入っていく。なお、小規模な補修要望は、その都度対応する。

# 上下水道料値上げは影響大 管路補修工事のため必要



おがわ ふみこ 議員  
小川 文子 議員  
(日本共産党)

一般質問 町政を問う



老朽化が進む下水道管（現在は改修済み）

**質問** 水道料6%、下水道使用料15%値上げは影響が大きいことから以下問う。

水道管1キロメートル改修するのに、要する経費はいくらか。

**町長** 舗装された道路に埋設された口径10センチの場合、約5

000万円程度で、管路補修工事等を計画中である。

**質問** 鉛管はどの位残っているか。

**町長** 現在64世帯に残っており、早期に更新したい。

**質問** 医大病院開院により、病院への給水量が4000人に相当するのではないか。

**町長** 事業活動による利用量は変動するため単純に給水人口に換算できない。

**質問** 下水道管の長寿命化事業による交付金の割合はどのくらいか。

**町長** 28年度の事業費2億2000万円のうち、交付金は2分の1の1億1000万円を見込んでいます。

**質問** 一般会計からの基準外繰入を大きく減額した理由は、

**町長** 一般会計財源配分、他の分野とのバランスから減額した。

**質問** 平川食品の下水道使用

料不正問題が決着し、約3億円の不納欠損額となり、値上げに対する不満の声がある。

**町長** 二度と不正が発生しないよう万全の対策をとる。

## 病児保育所の開設を

### 必要性があり

### 検討する

**質問** 病児保育の考えは。

**町長** 保護者が他に頼れる身内がない場合、盛岡の施設を利用して例もあり、必要性があると考える。

**質問** こずかた保育園で町内園児のための、病児保育ができないか。

**町長** 交渉していきたい。

**質問** 車を持たない保護者への、タクシー券の支援はできないか。

**町長** 就学前児童を対象としたアンケート調査を行い、検討する。

# いじめ担当教員の配置を 相談員2名を配置し対応



やまざき みちお 議員  
**山崎 道夫**  
(一心会)

**質問** 今後制定を目指しているいじめ防止基本条例は、単に施策の基本方針を掲げただけの理念型条例では、実効性が乏しいと思われる。  
子どもを含めた全ての関係者の責務や役割を、行動規範として規定することが大切だと思いが、制定に向けた基本的な考えは。

**教育委員長** 条例制定に当たっては、町・教育委員会・学校・保護者・児童生徒・地域住民のそれぞれの責務または役割を明記する予定である。いじめの根絶に向け具体的に取り組んでいくことを定めた条例としたいと考えている。



非行防止のために活動するすくすくネットワークのパトロール

**質問** 4月から教育相談員2名を配置する予定としているが、教育機関以外に「矢巾の子どもを守る委員会」を常設の第三者機関として設置し、多方面から見守る体制をとるべきではないか。

また、町内小中学校6校に

いじめ担当教員を町費で配置してはどうか。

**教育委員長** 町いじめ問題対策連絡協議会が設置されており、幅広い立場で見守り体制の充実を図っていきたい。

また、いじめ担当教員の配置は難しいが、いじめ問題相

談員2名を配置し、個別相談や初期対応、保護者・教師からの相談や助言など町教育委員会との連携で、速やかな対応を図っていく。

## 幸福度調査の 実施を

### 後期基本計画 策定前に検討

**質問** 地域の豊かさを測る「幸福度指標」に取り組む自治体が増えてきている。  
本町でも町政運営において

住民の幸福度向上を掲げ意識調査を行って、それを参考に第7次総合計画の実施計画策定に生かしていくべきではないか。

**町長** 第7次総合計画策定にあたって、住民アンケートを行い、その中で満足度評価を併せて実施し、計画策定に生かしてきた。

幸福度指標については、後期基本計画策定前に予定しているアンケート調査の際に検討していきたい。

# 徳田小学校の移転政策は 早期の検討協議が必要



ふじわら よしみ  
**藤原 由巳 議員**  
(やまゆり会)



移転改築計画が進められる徳田小学校

**質問** 28年度の教育行政方針において、徳田小の移転改築に取り組み必要があると述べられたが、その具体案は。

**教育委員長** すでに耐震補強工事は完了し、校舎は現状では問題はない。  
築45年と史跡徳丹城跡の中

にあるため、将来は移転しなければならず、早い段階から移転改築に向けた検討を始める必要がある。

**質問** 社会教育の充実が求められており、青年・女性・郷土芸能組織は厳しいと思われる。振興への具体策は。

**教育委員長** 青年の組織化は難しいが、女性組織は現在、町事業である敬老会や成人式子育て・福祉関係会議にも出席するなど、町の重要な役割を担っている。  
郷土芸能については、専門家の意見を聞きながら伝承活動を支援していく。

**わたまるカップ  
創設を**

**開催できるよう  
支援**

**質問** いわて国体での、スポーツチャンバラの盛会を願う。終了後は競技普及拡大継続のためにも大規模大会、仮称「わたまるカップ」の開催を創

設すべきと思うが。  
**教育委員長** 3月には町の協会も設立したことから、県協会と連携を図り、世界大会のある競技なので、本町で大きな大会を開催できるように支援していきたい。

**道の駅構想は**

**組織を立ち上げ  
検討していく**

**質問** 2月に開催されたまちづくり懇談会において、道の駅をスマートインター上り線に考えていると町長が述べた。インターエンジンに併設的な道の駅はあまり例がなく、条件的にもよいとは思えないが、その真意を問う。

**町長** 高速道路利用者への利便性向上や企業誘致による産業活性化への期待などから発言した。

徳田地区の国道4号と併せて候補地の一つであることを発言したもので、今後さらに情勢が深まった段階で組織の立ち上げを検討していく。

# 在宅介護支援の取り組みは 基盤組織を構築していく



かわむら  
川村 よし子 議員  
(日本共産党)

**質問** 介護保険法が改正され、今後、在宅介護の高齢者が多くなると思われるが、在宅支援の組織づくりが大切になる。町の取り組み状況はどうか。

**町長** 「生きいきまちづくり委員会」に設置されている各部会の見直し、地域包括ケアシステム部会を整備し、各関係機関の意見をいただきながら、基盤組織を構築する。

**質問** 訪問医療や訪問看護・包括医療ケアの取り組み、専門職の研修はどうなっているのか。

**町長** 紫波町と共同で「在宅医療・介護連携推進事業」を構築するべく協議している。専門職に対し、毎月研修を

行っており、困難事例の相談も随時支援している。

**質問** 介護保険サービスの利用料が高く、使えないサービスがあるので軽減できないか。

**町長** 全国一律で決まっているが、災害や世帯収入による



環境施設組合での仕分け作業（西徳田）

減免制度がある。

## リサイクル率 向上は

### 民間活用を考える

**質問** リサイクル率を向上させ

せるために、紫波町方式のリサイクルセンター設置場所を拡充する考えはないか。

**町長** リサイクル施策の検討の際は、民間活用を視野に入れていく。

**質問** 県央ブロックごみ・し尿処理広域化基本構想の住民説明はどうするのか。

**町長** パブリックコメントと、住民説明会を2回行った。広報紙や町ホームページに掲載し広域化の協議を進める。

## いじめ防止 条例は

### お互いの尊厳を 認め合う条例に

**質問** いじめ防止条例は、「子ども権利条約」が生かされた内容が必要と考えるが。

**教育委員長** 可能な限り盛り込み、矢巾町の将来を担う子どもたちがお互いの尊厳を認め合い、自分の命や他人の命を大切に健やかに充実した生活を送れる条例にする。

# セブントウン構想はいかに 地域特性を生かし町づくりを



ふじ ちら うめ あき  
藤原 梅昭 議員  
(一心会)

**質問** 地方創生としてそれぞれの地域特性を生かし、①煙山小学校②不動小学校③徳田小学校④高田地区⑤流通センター、ウエストヒルズ広宮沢⑥矢幅駅東西⑦岩手医大附属病院の7地域を第7次総合計画での町民への意識づけするためにも「セブントウン構想」として町づくりを推進してはどうか。

**町長** 矢幅駅周辺や国道4号沿線の市街化区域を中心に宅地化が進む中で、市街化調整区域内の地域においては土地利用規制により人口減少が進んでいる。

地域の特性に配慮しつつバランスのとれた土地利用を推進していく。



冬場の健康づくりに使用されているスカイドーム (秋田市)

## 禁煙への 支援策を

### 環境づくりに

### 力を入れる

**質問** 脳卒中・ワースト1脱却として、「三大リスク」「高血圧」

「糖尿病」「喫煙」全ての対策に取り組むべきだが、喫煙者のうち3割がやめたいと思っている。

やめたいと思っている方への支援策を。

**町長** 禁煙できる環境づくりに力を入れていきたい。

## 冬場の健康に ドームを

### 旧矢中跡地活用

### 検討委員会で審議

**質問** 団塊世代が75歳以上となる2025年問題は、生涯スポーツでの予防が大事だが、特に冬場の施設が不足しているのでドーム施設を検討できないか。

**町長** 旧矢中中学校跡地活用検討委員会でも審議したい。

## 高校生まで

## 医療費助成を

### 助成拡大を検討

**質問** 不妊治療は他に先駆け助成を始めたが、子ども医療費助成は遅れており、小学生はもちろん、中・高校生まで拡大すべきと思うが。

**町長** 子育て環境の充実という観点から今後の給付の動向を見極め助成拡大を検討する。

私も



# ひとこと!

中学生議会開催の目的は「議会で質問すること」ではなく、社会や矢巾町で起きている問題を、中学生と、周りの人々が「考える」きっかけを作ることです。

中学生の皆さんは、矢巾町議会を体験して、何を感じたかをお聞きしました。



矢巾の未来を担う中学生たち

○この中学生議会で、どのように議会が行われ、どのように話し合われるのかをすべてよかったです。

いま矢巾町で起きている問題や、新しく作ってほしい施設など、みんなで話し合って決めたことを質問している様子をしっかりと見ることができました。

「矢巾中学校2年」

○参加してみて、矢巾町がどのような計画、対策をしているのかが分かったので良かったです。

○今まで、町の現状をよく知らなかったけれど、詳しい説明をしていただいて、関心を持ち知ることができた。

「矢巾北中学校1年」

○参加して、今までより矢巾町の取り組みに関心を持つようになりました。新聞の記事で、岩手県の取り組みを矢巾町のものと比較し、今の時代背景を学ぶこともできました。相手が聞きやすいように話すポイントも分かったので良かったです。

○自分たちが不便に感じていたことや、疑問に思っていたことについての町の考え、現状を知ることができたので良かったです。

「矢巾中学校1年」

○平日だったので、働いている親が見に来れなかったことを少し考えてほしかったです。町の意見を直接聞くことができて良かったです。

「矢巾北中学校2年」

○私は、あまり今の矢巾町を考えるとがなかったけど、矢巾町のことを考えるきっかけになってよかった。

「矢巾北中学校2年」

## 町村議会広報コンクール

### ダブル受賞

平成27年度町村議会広報コンクールにおいて、192号が全国で奨励賞、194号が県で入選2席になりました。192号は前メンバーの集大成であり、194号は新メンバーになって2回目の発行での受賞です。

受賞を喜ぶとともに、誰よりも町民の皆様に評価していただけるような広報になるよう、委員一丸となって取り組んでまいります。



194号



192号



田園ホールでの郷土芸能大会（太鼓を打ち鳴らす筆者）

## 白沢神楽

代表 <sup>ふじわら</sup> 藤原 <sup>わたる</sup> 渉 さん（白沢行政区）

### 地域の伝統を絶やさず

白沢神楽は約200年前から白沢地区に伝わる山伏神楽で、昔は町内に5団体あったのですが、今では矢巾町で唯一の神楽となってしまいました。

現在の神楽衆は9名で活動していて、主に8月下旬から9月上旬にかけて町内の十数カ所の神社を中心に神楽の奉納や、地域や町行事などボランティアとして年に数回程度出演依頼を受け活動しております。

白沢神楽は神社に奉納する際の式舞と呼ばれる演目や道具、衣装などから早池峰岳神楽の流れを汲む神楽と言われております。去る1月23日に行われた第40回矢巾町郷土芸能大会では早池峰岳神楽に特別出演していただいたことがとても印象深く感動しました。早池峰岳神楽の流れを汲む白沢神楽として、これからも地域の皆様に支えられながら、一日でも長く続けていけるよ

う、一同頑張っていきたいと思っております。

白沢神楽は矢巾町で唯一となりましたことから、今後絶やすことなく、後世まで残したいと考えており、いっしょに神楽の伝承に参加していただける方を募集しております。ご一報お願い申し上げます。

#### 白沢神楽の由来

白沢には、狛森神楽と上白沢神楽の2つの神楽が継承されてきた。

狛森神楽は文政の頃早池峰山麓の神楽を継承したものとされている。

上白沢神楽は「盛岡南部家の社家・原田隼人が伝えた」とされているが、いずれもその詳細は不明である。

大正時代に入り人手が揃わなくなり、互いに交流を図りながら存続してきたようであるが、大正9年頃統合し、「白沢神楽」と改称し、現在に継承されているものである。

### 表紙のよびかけ

中学生の皆さんから寄せられた、もっと町を良くしたいという意見。まっすぐな言葉は矢巾町の力になります。共に良い町にしていきたいでしょう。



### あ と が き

第1回中学生議会での堂々とした提言を議会だけで皆様にお伝えできるとに大きな感動を覚えています。次は、子ども議会や女性議会かなと夢が膨らむとともに、自分たちも身の引き締まる思いです。

これからも小学生や高校生、一般の方々にも議会を身近に感じていただけるような編集を目指します。

編集委員 高橋 安子

#### 発行・編集責任者

議長 廣田 光男  
編集委員 委員長 昆 秀一  
副委員長 齊藤 正範  
委員 廣田 清実  
高橋 安子  
村松 信一

